

細川春葉、(大阪聯合會)天西潤平、山本繁吉、鹿城城也、河野勇、今井勝蔵、(神戸聯合會)丹波繁正、井上宇一郎、(阪神聯合會)福島素、(京都一般)中川緑一郎、(滋賀化學)尾持佐太郎、(廣島第二労働)母井一夫、(日本労働)中久太郎、合計二十七名

報 告

- 一、第一回及第二回中央委員報告
- 二、國際労働會議に關する當事情の報告

議 事

一、監査相互金庫設置具體化に關する件
別項議案に就て説明、各委員より統制の問題、役員任期積立金貸出方法等就て質問討論あり原案通過一致可決

二、國際労働會議に關する件
組合會議事務局より第十八回國際労働代表を全勞より選出すべき旨の意向書發表あり、本問題が緊急なる當面の問題となつた事情、及ぶこの問題に關して大阪聯合會よりの上中に基づいて在京中央委員會の内容を、並に全勞從來の方針と本問題との關係を關して詳細なる説明ありこれに對して種々なる問題より質問討論が交された。採決に入らば先づ東京聯合會代表より、東京聯合會には貸借兩論あるが、事際考慮の程度をもとめ、必要上採決に加はることを保留することになり、採決ならんが決定に對しては絶對に服する、同問題の如き保留を確保するとの發言あり、採決

一、労働代表人選に關する件
代表鈴木悅次郎、隨員菊川忠雄と一組合會議に推薦したが組合會議に於ては主事が委員長を代表として選出されたいと考慮を要求して來た。

斯る事態を憂へた鈴木悅次郎君は代表候補としての推薦を撤退し菊川忠雄君を代表に推薦したいと申出で左の通り第十一回國際労働代表及び隨員を決定した、
労働代表 菊川 忠雄
隨員 鈴木悅次郎

第四回中央委員會

日時 四月十八日午前十時—午後二時

場所 大阪労働教育會館會議室

出席者 河野委員長、菊川主事、中央委員鈴木悅次郎、山口常次郎、井上貞二、茅野眞好、高橋涉、天満芳太郎、渡邊勲藏、國際部主任河野勇、共濟部主任桑島南海士

報 告

- 一、菊川、鈴木滿洲國視察報告
- 二、全國遊説並に労働代表、隨員工場視察報告

議 事

- 一、人事に關する件
- 主事代理 茅野眞好

に於て第十八回國際労働代表を全勞より推すこと、及び採決した。尚代表隨員の人選については丹波、中川兩君の希望實現陳述の後中央委員會に一任と決した。

(註) 一、大阪中央委員會後中央委員報告を、月十五日午後二時より大阪労働學校に於て開會、國際労働代表人選に關する報告を主事「地方委員會」報告に於て進め決定すること、その日の報告を主事「地方委員會」報告によれば第十八回國際労働代表候補は、第一回中央委員會報告委員、第二候補 山田新太郎、長 木村次郎氏、内閣上、その日の報告によれば、河野委員長、山田新太郎氏、内閣上、その日の報告によれば、河野委員長、山田新太郎氏の報告に投した。

二、労働部財に關する件
大阪中央委員會に一任と決定

第三回緊急中央委員會

日時 一月十五日午後七時—十一時

場所 大阪労働學校

出席 菊川主事、鈴木悅次郎、山口常次郎、井上貞二、天満芳太郎、衣笠一夫、茅野眞好、高橋涉、天満芳太郎、渡邊勲藏、(東京委員長は茅野眞好に委任)

報 告

一、中央委員會後代表人選に關する件

會 計 代理 高橋涉
關西事務局長代理 山口常次郎
同 事務取扱 鶴 五 三
政治部長代理 河野 勇
組織部長代理 河野 勇
組合會議執行委員 河野 密
同 政治委員 河野 密
同 隨員 山口常次郎
同 隨員 井上貞二

二、組合會議對策の件
副理事選任については議長、副議長、書記長に一任、但し

必要の場合には鈴木關西事務局長に一任
三、ソシアリ・クンペンク問題對策に關する件
一、日本の労働條件は低賃銀、労働條件なりと認む

二、日本の國際労働總會脱退對反對
六、國際労働會議に於ては政府、資本家代表に對しては獨自の立場を以て行動すること

七、國內的には日本労働組合會議、社會大衆黨と協力して政治的、經濟的に大衆闘争を捲き起すこと

第五回中央委員會

日時 七月二十六日午後一時—十五時

場所 全國労働本部